

Makuhari's Memory

「住民との合意形成に向けたファシリテーションの実践」研修に参加して

近年、住民協働というキーワードで、住民と一緒に地域課題を解決しようとする動きが全国的に活発化している中、昨年度から新たに始まった「住民との合意形成に向けたファシリテーションの実践」に参加しました。

私は企画部マネジメント推進課で、施設の施策などに携わっており、特に住民との合意形成が必要であると考えている公共施設等総合管理計画に基づく「施設の再編や統廃合」について、他の自治体の先進事例や合意形成を得るためのワークショップの進め方について学ぶことが目的でした。

この研修は、「実践」という言葉が研修名に入っている通り、多くの時間をワークショップの企画や準備、そして発表の時間に充てられており、すぐに業務へ活かすことができる内容でした。講義では、先進事例を中心に具体的な手法を交えて解説いただき、特に講師の経験された合意形成に至るまでの体験談は心に残る内容でした。

新型コロナウイルス感染症対策が引き続き行われる中、限られた時間ではありましたが、全国から集まった自治体の仲間同士で情報交換し、親睦も深めることもでき、大変充実した時間を過ごすことができました。

最後になりますが、講師の皆様、市町村職員中央研修所の皆様のおかげで、安心できる環境で、5日間の研修を無事修了できたことをこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



池島 秀起

兵庫県芦屋市
企画部マネジメント推進課技師
〈受講研修科目〉
住民との合意形成に向けたファシリテーションの実践
第35期第1組（令和3年度）